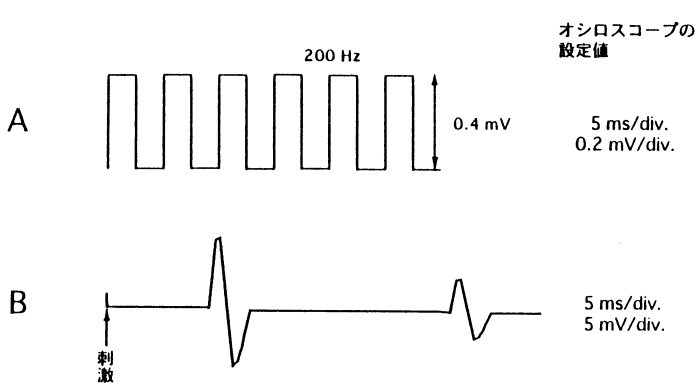


問 1 今回の実習で、膝窩部に刺激電極を貼付し、脛骨神経を単発刺激してヒラメ筋から筋電図を記録した。AとBは、X-Yレコーダーに記録した波形で、Aは校正電圧 (calibration; 0.4 mV、200 Hz)、Bはある刺激強度で発生した筋電図である。以下の問に答えなさい。

- (1) M波の潜時と振幅 (peak to peak) を求めなさい。
- (2) Bの記録から刺激強度を数ボルト下げて刺激すると、どのような筋電図波形が記録されるか? おおよその波形を解答欄に描きなさい。
- (3) どのような機序でBのような振幅の筋電図波形が誘発されたと考えられるか? 詳しく説明しなさい。



解答欄

(1) 潜時

振幅

(2)

(3)

問 2 実習帳の実験 2 では、H波のみ誘発される刺激強度で、安静時と随意運動時のH波の振幅を比較したところ、随意運動時にH波の促通が観察された。この促通の機序を神経回路図と膜電位変化の図を描いて詳しく説明しなさい。

[解答欄]